

# 水害に備えて

水害の初期対応は浸水被害による生命や財産への被害軽減のためにたいへん重要です。日頃から、いざという時のために備えておきましょう。

## 日頃からの心得・準備

### ●側溝や雨水ますをふさがないようにしましょう

雨水ますの吸い込み口が落ち葉やごみで詰まると、道路冠水や浸水の原因となります。雨水ますなどの上に車乗り入れブロックなどを置かないように、ご協力をお願いします。

### ●地図上であなたの家と避難所を確認しましょう

川から離れている場所でも浸水することがあります。「島本町防災ハザードマップ」で自宅付近の浸水状況を確認しておきましょう。



## 避難行動判定フローを確認しましょう

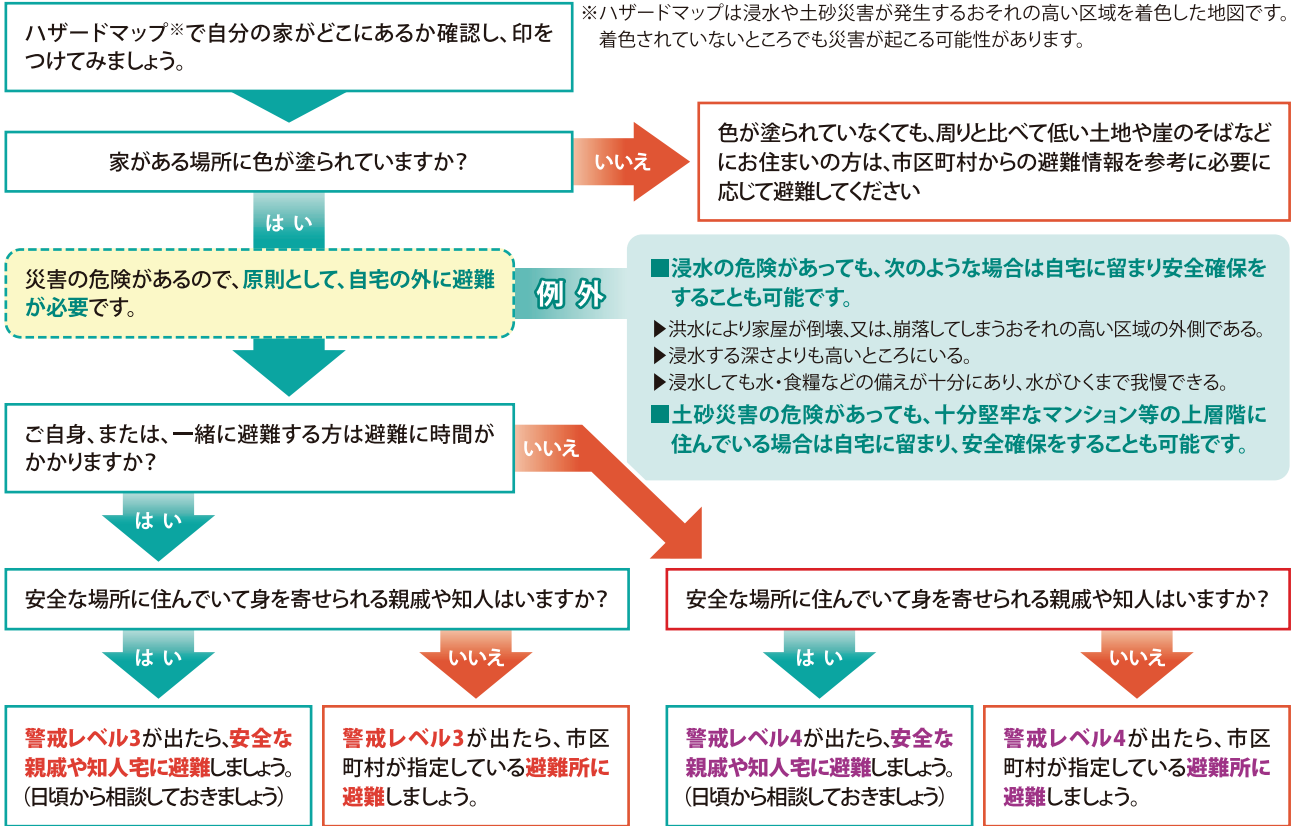
### ●「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう

「避難行動判定フロー」を「島本町防災ハザードマップ」とあわせて確認し、居住する地域の災害リスクや住宅の条件等を考慮したうえでとるべき避難行動や適切な避難先を確認しておきましょう。

平時に確認

## 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？



## 大雨が降ってきたら

### ●早めの避難が出来なかった場合は危険な避難は行わず安全を確保しましょう

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、がけや浸水区域から離れる(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行うという判断も必要です。また、土砂災害の危険性がある地区では、屋内でも山と反対側に避難を行うことも必要です。



### アンダーパスに注意



道路や鉄道などが立体交差する場合、その下を通る地下道を「アンダーパス」といいます。大雨・洪水時、アンダーパスは真先に冠水してしまいます。

# 非常持出品・非常備蓄品チェックリスト

## 非常持出品

避難するときに持ち出す最小限の必需品。男性で15kg、女性で10kg程度を目安にリュックなどの持ちやすい状態で準備しておきましょう。

### 非常食料品

- 乾パン・缶詰
- 栄養補助食品
- ドライフーズ
- ミネラルウォーター、水筒
- 離乳食
- 粉ミルク
- レトルトのおかず



### 貴重品

- 現金
- 免許証
- 預貯金通帳、印かん
- 権利証書、健康保険証



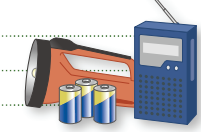
### 応急薬品

- ばんそうこう、包帯
- 傷薬、胃腸薬
- 目薬、消毒薬
- 常備薬



### 生活用品

- リュックサック
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 乾電池
- 下着・上着・靴下など
- 軍手、タオル
- ティッシュ、トイレトペーパー
- ウエットティッシュ



- 雨具
- ビニール袋
- 生理用品、紙おむつ
- ライター
- キッチン用ラップ
- プラスチック皿、紙の皿、紙コップ
- 割りばし
- 缶切り、栓抜き



## 非常備蓄品

災害復旧までの数日間(最低7日間)のための備蓄品。非常持出品に加え、ご家庭で備蓄していれば便利です。被害を受けにくく、非常時でも取出しやすい場所に保管しておきましょう。

- ポリ容器、バケツ
- 古新聞など、ビニールシート
- ペットフード(ペットがいる場合)
- スコップ

- 使い捨てカイロ
- ロウソク
- 布製ガムテープ
- ドライシャンプー

- ガスコンロ・ガスボンベ
- ロープ
- パール、ハンマー

## 警戒レベルと、とるべき行動

警戒レベル	避難情報等 (島本町が発令)	防災気象情報 (気象庁が発表)	とるべき行動
警戒レベル5	災害発生情報	大雨特別警報	すでに災害が発生している状況です。この段階では安全な避難が難しい場合があります。空振りをおそれずに、レベル3・レベル4の段階で安全に避難を終えましょう。
警戒レベル4	避難指示(緊急) 避難勧告	土砂災害警戒情報	いまずぐ安全な場所へ全員避難。速やかに避難所に避難しましょう。避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警報	高齢者や要介護者等は避難。高齢者、障がいのある方等、避難に時間のかかる方とその支援者は避難を開始しましょう。その他の方は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2		洪水注意報・大雨注意報等	ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。災害の危険性のある区域、避難場所、避難経路、避難のタイミングを確認してください。
警戒レベル1		早期注意情報	最新の防災気象情報などを確認しましょう。災害への心構えを高めてください。

- 災害時には、防災行政無線や広報車などで行政からの避難情報を発信するので、それらに注意してください。
- インターネットなどからも防災情報を入手できます。自ら情報を入手し、危険を感じたときは自主的に避難してください。